

講師

秋岡 陽 (音楽史/フェリス女学院大学 学長)

寺崎 百合子 (画家)

特別ゲスト

鈴木 広志 (サクソ奏者/作曲家)

2016年10月29日[土] / 30日[日] (2日間)

時間 | 10:30 - 17:30 ※昼休憩あり

会場 | 目黒区美術館 ワークショップ室

東京都目黒区目黒2-4-36

JR 山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線・都営三田線「目黒駅」より徒歩約10分

対象 | 高校生以上

9/16(金) 受付開始

定員 | 20名 (先着順)

参加費 | 2,000円 (材料費・保険料含む)

美術側からナビゲートしていただく講師は、主に黒の鉛筆を使って深い闇と光を表現し、様々なモノクロームの世界を描き出す画家の寺崎百合子さん。音楽の分野からは、このワークショップシリーズのレギュラー講師ともいえる秋岡陽さんに、「描かれる楽器」について多角的な視点からお話していただきます。そして、私たちが観察する楽器を提供し演奏していただくのは、サクソをはじめ様々な木管楽器を操る音楽家の鈴木広志さんです。

形を見つめ、構造や背景、歴史を知り、音を聴くという体験を経た自分を通して、どんな楽器のカタチが紡ぎだされるでしょうか。

音楽と美術のワークショップシリーズ第5回
楽器を視る、聴く、描く

—鉛筆から紡ぎだされる楽器のカタチ

音楽と美術のワークショップシリーズ 第5回

楽器を視る、聴く、描く

—鉛筆から紡ぎだされる楽器のカタチ

プロフィール

秋岡 陽 (音楽史/フェリス女学院大学 学長)



1954年東京都目黒区生まれ。国際基督教大学卒業後に渡米、シカゴ大学大学院で西洋音楽史を専攻した。帰国後は音楽之友社に入社、音楽辞典の編集などに携わる。1993年、フェリス女学院大学音楽学部専任講師となり、音楽史を担当。2012年4月より、同校の学長に就任。授業ではクラシックやジャズ、ポップスなどジャンルを超えた音楽へのアプローチが学生たちから好評を得ている。音楽と美術のワークショップには初回から携わり、参加者からの支持も厚い。

寺崎 百合子 (画家)



1974年米国ハワイ州立大学アーツ・アンド・サイエンス学部学士課程卒業。1988-89年米国ニューヨーク在住(アジア・カルチャー・カウンシル奨学金取得)。1998-99年英国オックスフォード在住(文化庁芸術家在外研修員・オックスフォード・ニューカレッジ)。2007年、目黒区美術館の「線の迷宮II—鉛筆と黒鉛の旋律」展に出展。著作に『英国オックスフォードで学ぶということ』(2004年講談社)がある。

特別ゲスト

鈴木 広志 (サクソ奏者/作曲家)



東京藝術大学卒業。サクソ、フルート、クラリネット、リコーダーなどを自在に操り独自の音楽活動を展開する。ソロ活動の他清水靖晃&サキソフォネッツ、東京中低域、大友良英スペシャルビックバンドなどのメンバーとしても活動。めぐろパーシモンホールには2011年「屏風と音楽」コンサートと関連ワークショップに出演。目黒区美術館には2015年「村野藤吾の建築—模型が語る豊饒な世界」展のミュージアムコンサート、目黒区総合庁舎ロビーコンサートにも出演している。



Photo by Yo Akioka

申込方法

メール または FAX で下記項目を記入のうえ、お申し込みください。

1. 件名「音楽と美術のワークショップ申込」
2. 郵便番号・住所
3. 氏名(ふりがな)
4. 電話・FAX番号・Eメールアドレス
5. 年齢
6. 性別

申込先・問い合わせ

めぐろパーシモンホール 事業課「音楽と美術のワークショップ」係
TEL. 03-5701-2913

メール workshop@persimmon.or.jp

FAX 03-5701-2968

主催 | 目黒区 / (公財) 目黒区芸術文化振興財団

めぐろオータムアート

目黒区内の色々な場所で、音楽や美術、建築など様々なアートに触れられるイベントを開催します。

聴く、観る、体験する、知る…
興味のあるイベントを見つけてぜひご参加ください。

めぐろパーシモンホール <http://www.persimmon.or.jp>
目黒区美術館 <http://www.mmat.jp>



めぐろパーシモンホール × 目黒区美術館 共同企画



Photo by Yo Akioka